

発展する南部中学校

昭和22年～昭和32年の沿革

昭和(年)	卒業回	主な出来事	生徒数(学級数)	校長	PTA会長
22年	1	南部第一中学校として開校(福岡・高師・磯辺小学校で授業) 伊勢湾巡航実施 第一回卒業式	720(17)	鈴木兵衛	水口寛一
23年	2	第一中と第二中統合・南部中学校と改称(大崎・植田・野依) 教育復興祭 PTA結成大会	1535(32)	鈴木兵衛	榊原勝男
24年	3	元南部第二中が分離して、南稜中学校が開校 同窓会・生徒会発足式 父母教師会年次総会	1414(30)	中野 譽	稲垣留吉
25年	4	学校放送開始 校舎改築工事着工 校章制定(「南」を若鳥を広げた姿)	1435(28)	中野 譽	林 行夫
26年	5	「南中を讃える歌」ができる 近衛楽団来演	1436(29)	中野 譽	榊原勝男
27年	6	校内水泳大会(狭間プール) 栄小学校開校 日米講和条約発効記念式典	1464(29)	中野 譽	小野田誠一
28年	7	新校舎増築工事着工 文部政務次官視察 保健体育研究発表(県教委)	1535(30)	木村輝治	林 行夫
29年	8	西校舎三教室撤去 新校舎(木造)竣工 豊橋博覧会見学	1664(32)	木村輝治	鈴木栄一
30年	9	天伯小学校開校 市合併祝賀提灯行列 丸山薫氏講演会	1753(33)	忠内徳二	田中義雄
31年	10	ピアノ披露演奏会 講堂解体 水泳特訓(大塚海岸1・2年)	1816(34)	忠内徳二	内藤多一
32年	11	水飲み場・足洗い場完成 運動場整地 市内中学校十周年記念音楽祭	1801(34)	匹田和夫	永田 深



開校間もないころの兵舎を利用した校舎



現在は使われていない正門(昭和29年ごろ)



教室の様子(昭和25年)木の机が教室にそろった。教室は生徒で隙間なく埋まっていた。



体育祭の様子(昭和31年)後方に当時の木造校舎が見える



11回生により寄贈された水飲み場(昭和32年)現在でも運動場の西側に残っている。